

令和3年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会（夏期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

スマート農業実証プロジェクトでは、今年度から輸出やスマート商流など新たなテーマを対象とした実証が開始しており、先端技術による生産現場の課題解決が進むことへの期待がさらに高まりつつある。その一方で、スマート農業技術の導入に際しては導入コストや、安定した通信環境の構築などの課題も生じており、今後普及を拡大していくうえでの障壁となっている。そこで本研究会では、スマート農業技術について生産現場における普及上の課題を整理するとともに、その解決に向けた研究の方向性を検討する。

2. 開催日時 令和3年8月26日（木） 14：30～17：00

3. 開催場所 山形大学農学部(Web 開催)
〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町 1-23

4. 内 容

1) 合同講演会 14:30～15:50（農業食料工学会東北支部との合同開催）

テーマ：「多様な分野・品目におけるスマート農業の普及と課題」

(1) 全国各地における多様なスマート農業の普及・実証事例（仮題）

農研機構企画戦略本部 研究統括部スマート農業事業推進室

主席研究員 飯嶋 渡 氏

(2) 山形県におけるスマート農業実証・普及に向けた取り組み（全体概要）

山形県農林水産部 農業技術環境課

研究調整・スマート農業普及推進専門員 遠藤 宏幸 氏

(3) 山形県におけるスマート農業実証・普及に向けた取り組み（個別事例）

山形県農林水産部 農業総合研究センター土地利用型作物部

主任専門研究員 後藤 元 氏

2) 検討会 16:00～17:00

①夏期研究会テーマに係る各県の現状と課題および外部資金獲得に向けた課題提案等

②令和3年度作業技術研究会（冬期）重点検討事項、ほか

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、試験研究を担う地方独立行政法人、東北農政局、県行政・普及部局、大学、「知」の集積と活用場「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他運営責任者が必要と認める者

6. 連絡先

農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 冠 秀昭

〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4

TEL：019-643-3535 FAX：019-641-7794 E-mail：kanmurihi@affrc.go.jp

7. その他

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の対応をお願い致します。

- ・リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三

密の状況にならないよう留意するとともに、出席者には検温、手指消毒の励行および発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。

- ・運営事務局は出席者名簿を作成し、万一、会議出席者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。